

新撰

江戸幕南坂

四

卷之四

牛込

小日向  
田口  
市谷  
大久保

四谷

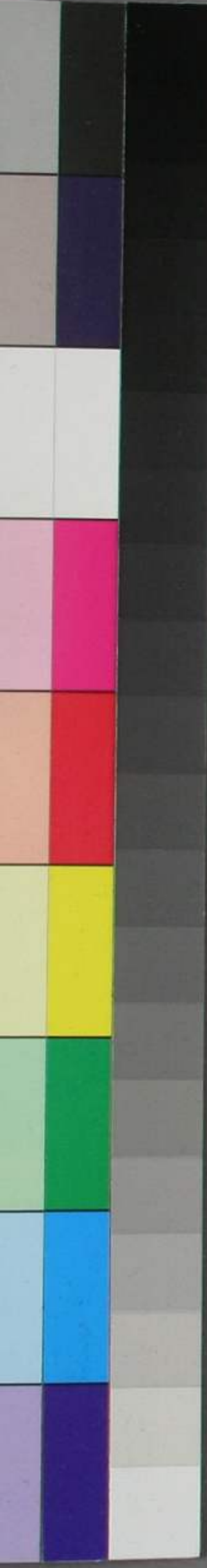
内藤宿  
大木戸  
中野  
千駄ヶ谷

赤坂

青山  
権太原  
長谷  
元井橋

荏原郡  
世田谷  
真矢

JL4  
3228  
4



凡 4  
3228  
4

江戸砂子温故名跡誌卷之四 沾凉纂緝



豊嶋郡岐田領

① 牛込

小日向 高田

関口 市谷

雑司谷 大久保

同

② 四谷

内藤宿 鮫ヶ橋

大木戸 榎檀谷

多磨郡 中野

同郡 高井土

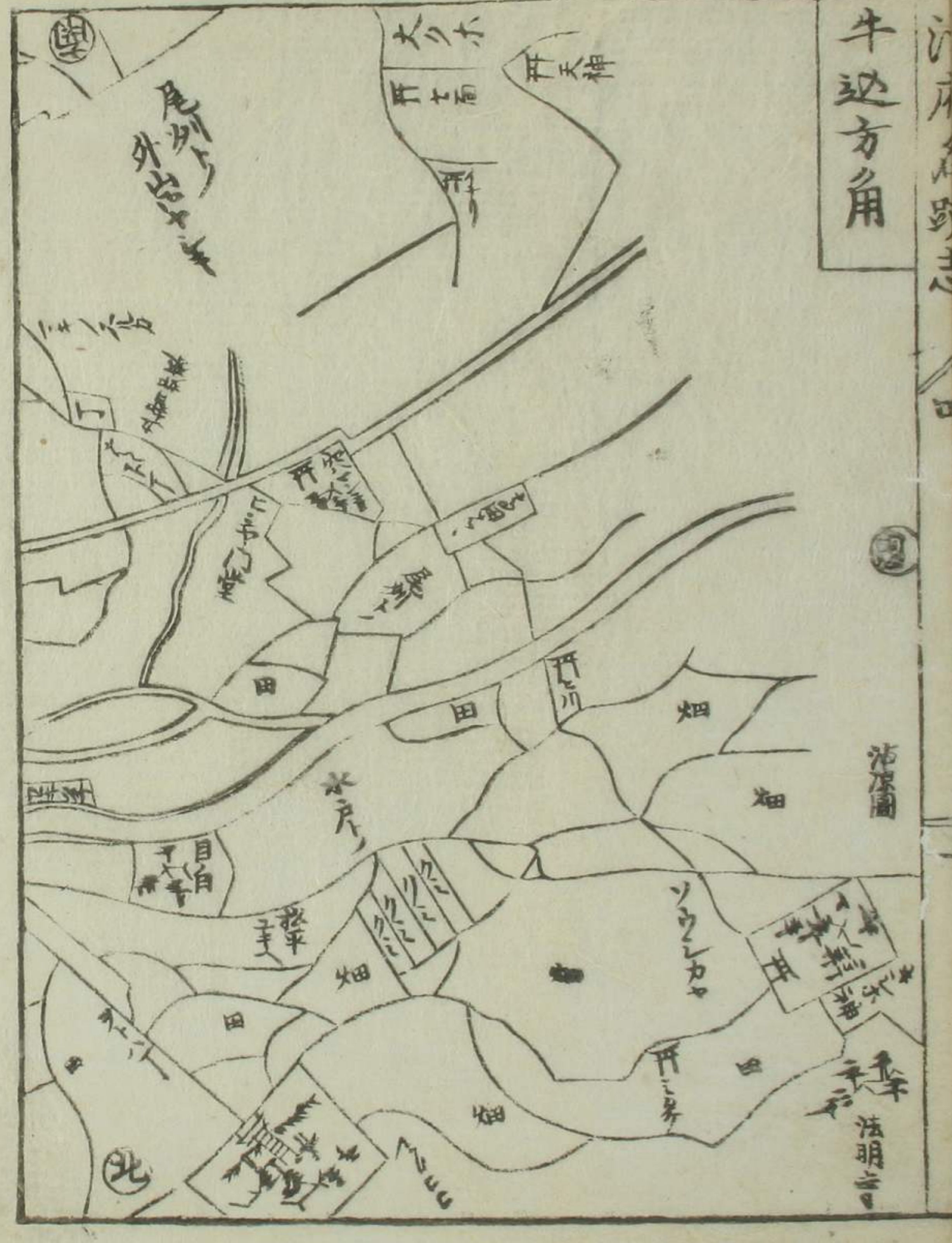
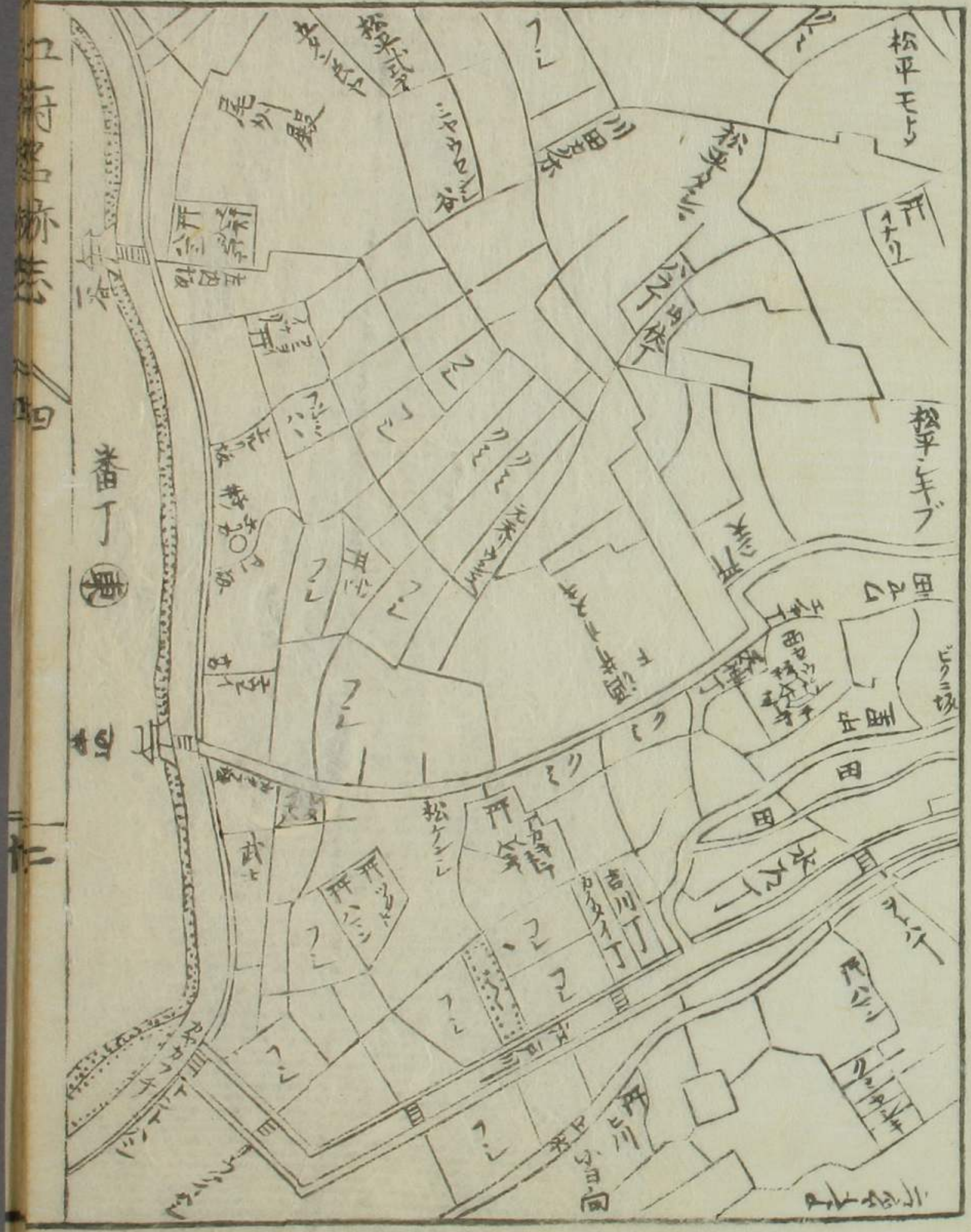
同郡麻布領

③ 赤坂

音山 長者ヶ丸

渋谷 鶴ヶ谷

在原郡 世田谷



牛辺方角

江戸府志

江戸府志

市



おありのくともゆく何橋一ありしそのわよのりしり津流を  
こころ八幡大神とののれをさる路乙とししゆく、申し  
連さすとし久しきびりしり時代不詳

○神樂坂

牛込西門のじうの坂し

市谷八幡のふれ、津雲牛込西門の橋のふよ志としく  
とゆりかろくを奏としくゆりかろくゆりかろくゆりかろく  
ゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろく  
八幡のぶらけは坂まじりこゆるゆりかろくゆりかろくゆりかろく

○色坂

ゆりかろくの坂

○美男坂

生坂の末

古く物産ゆきむしり、美男の所門の所門、小野美作君、玄人  
玄義と、ゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろく  
あり、美作君、ゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろく  
ゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろく  
ゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろく  
ゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろく

一の坂、あつり、ゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろく  
あつりゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろく  
ゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろく  
ゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろく  
ゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろく  
ゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろく  
ゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろく  
ゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろく

○船河原

じうの坂の川、あつりゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろく

○鰻魚の井

魚坂、あつりゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろく

里新、日神、あつりゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろく

千載集

あつりゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろくゆりかろく

枕草子 井、はらうみおの 甚武蔵し上り 又多摩郡中野へあり

あるよみをうきし 此の行ぬらひ 北村東巴

○松平陸奥守 信長と信忠 江戸川の底にうき

松平陸奥守 敬事茶室の信長と信忠の所をうきしと云 橋の下に水せいの捨るありて 此のうきある由に世信

○松平陸奥守 信長と信忠 江戸川の底にうき

いしきとせき姑 姑よりして此のうきをわたりしは 此のうきをわたりしは 此のうきをわたりしは

○立慶橋 江戸川にうき 大橋をたふさる慶長御前より

○御殿の 津久とんこのおをうき

いしきとせき姑 姑よりして此のうきをわたりしは 此のうきをわたりしは 此のうきをわたりしは

○津留橋 ありおの

いしきとせき姑 姑よりして此のうきをわたりしは 此のうきをわたりしは 此のうきをわたりしは

いしきとせき姑 姑よりして此のうきをわたりしは 此のうきをわたりしは 此のうきをわたりしは

いしきとせき姑 姑よりして此のうきをわたりしは 此のうきをわたりしは 此のうきをわたりしは

いしきとせき姑 姑よりして此のうきをわたりしは 此のうきをわたりしは 此のうきをわたりしは

いしきとせき姑 姑よりして此のうきをわたりしは 此のうきをわたりしは 此のうきをわたりしは

いしきとせき姑 姑よりして此のうきをわたりしは 此のうきをわたりしは 此のうきをわたりしは

まかき前ハ朝日のあたる時合も七燈外の人見物とて  
その後深ハ卯辰傳説にもいひ及ぶのち終つたといふ  
かきまきと清らゆ坂のたけくらゐもそのころさうせぬ  
清らぬく清らぬあつたといふ

○新入坂 信子ゆきまの坂 ちくせうの坂

○馬王天の場 ありあけのふじの馬場のこゝへままま

○若宮八幡宮 小坂のふ 別当光明の首門流

山列男といふが神一又仁徳天皇を奉りしむると云和漢三才圖會云  
文治八年の秋源朝興別泰衡一追治の時和歌ありとの  
後建之ありといふあはれふのたけくらゐ大社ありて治承  
二のあつて天養なり

○市芸清河の坂 牛の坂のたけくらゐは坂本まゝぬり  
ありあけのふのたけくらゐ

○大友の松牛の天神所 大友のたけくらゐは坂本まゝぬり  
ありあけのふのたけくらゐ

○草薙薬師 天台 薬師山光宗寺正徳流 上野末 牛の

同山香観律師 太田左衛門 現住雄岐法師

河合ハ平河梅林坂ありて後田舎元和の願今の時くらゐ  
高寺をまきしめ梅林ありて高寺ありて高寺ありて高寺あり  
一佛をありて高寺ありて高寺ありて高寺ありて高寺あり  
ゆきまきと清らゆ坂のたけくらゐもそのころさうせぬ  
清らぬく清らぬあつたといふ

○赤城明神社 牛の 上野末天台 別当赤穂山守貫寺

上野国赤城の三夜澤神を勧進とありむ上野のふに  
大胡堂澤といふありて高寺ありて高寺ありて高寺あり  
上野明神といふありて高寺ありて高寺ありて高寺あり  
牛のたけくらゐといふありて高寺ありて高寺ありて高寺あり  
牛のたけくらゐといふありて高寺ありて高寺ありて高寺あり

日光山記

注し中の湖中禪寺をあらわす二葉の神ハ蛇蟠し藤森城の神ハ蟻蛇し息をあらわすおたろろあり蟻蛇ハ神使なり个

非禪寺あり 祭礼九月十九日隔年し 当社四蛇ハ牛也門内ハ本倉家の牛也今昔の古本ノ板あり高橋

神也云云社牛也行元寺の留守云云行元寺じいの熱いいさ

○牛込氏の墓 宗泰寺にあり 其墓碣ヲ大胡太郎室後の商主也少輔室所云列牛也

乃縣子也其後膳所ノ代ノ小糸氏康に属し其の世

名を小糸氏に今御幕下牛込も小糸の支組なり云云

○氷川社 上あり ○志保 氷川のまにありつゝの宗

○金剛寺坂 史よりしと云傳あり ○そと 板町并大の東

○新坂 又如千人坂と云小日向上水のふ 寺蓮臺上

○服部坂 新坂のふし 惠中和尚旧於西禅菴ト云あり

○江戸川 上水の吐ありし園口の火改堰はくつと云かる

○目白不動堂 東豊山新長谷寺 真言 関口

本寺のまは不動院大陣の心 傳ありとあり大陣御刻

二福のまは一福のまは以の滝のまは海の一福のまは傳し

中興開基長谷坊書院小池坊秀年傳正

元和四年再興し

○蟹渡掛の橋 本堂のまあり

縁記曰高き野別足利何某の好ありまある事あり

或列を橋部 園口よりする園口の住人松村氏もある事あり

いささる信をせし時 一福のまは海の一福のまは傳し

嘉徳一け地を赤洲一第房を建る

寛永の頃御意橋の時奉まると云云と云云南の目あり

月白のまは 釣合あり

○不動坂 多田所より云云

○掃部橋 寛永九年九月と云云



○八幡宮 竜泉山洞雲寺指 美榮流 園。

上ノ宮と云関口の稲荷 用山獨港禪所 中真石平和尚用基

○椿山八幡宮 右内寺指 竜隠菴あり

下宮と云祭礼上下隔年あり 赤松椿の多しを多あり 水神社 日増地はる 赤木開闢より関口水門の古後神し

○胸突坂 松六のき 龍坂 高知町七丁ノ内

○大洗堰 目白のありし赤の大堰し

○上水 水原の松原池より流る至く清雲の早懸に淵

舟水より流る玉川河敷のさけより多敷を那へなるもて大河し 多敷郡の川に玉川し流る赤い六はなる矢口の流るは川なり 日中六玉川の川にて流るなるし 玉川鮎川の名物し 拾遺集 玉川子河と云るなるし玉川の魚はなるし

○禪宗 佛閣 牛込 小日向

○蒼龍山松源寺 效等末 江戸四ヶ寺の内 一代紫衣 牛込

用山靈鑑普照禪所 名宗立字蓬山僧 長刀蓮云云 現住七世名惟庸高 信に指しし云云 高僧名 法住大師の山の子三子云云 二春月

○蔭凉山漸松寺 日末 寺領三百石 坂所

用山水南和尚 用基祖心禪尼 此門系ハ文禄の末大友氏住居の地ニ ありしと云る云々 如く云の輪者指あり 直年任職云々 ありし

○御佛殿 廿日 別当 芳心院 寺領三千石

○鳳凰池 湯島分の赤あり 用山塔 類春院

○靈龜泉 湯島あり

○龍峰山保善寺 甲州 東林末 高 喜光院 長光院

○臨川山宗傳寺 漸松寺末 中里

○龍峰山保善寺 東林末 高 喜光院 長光院 臨川山宗傳寺 漸松寺末 中里

龍谷山田中寺

天徳寺末

通寺所

寛永の頃所屬乃所此居室に所傳ふを編も一所本寺に  
りありし寺是を以て寺ありし定まらざるも其  
うを中より西の方を所見ありし一田の中ありし  
寺なれし田中寺と申すなりし一  
今より田中寺と申すなりし一

安国山慈寧寺

関東曹洞宗僧録寺寺所

小日向永沼

開山通幻和尚

寺願百千八百寺あり余

徳利園廣量宿寺

元江列子あり正教所院即ち天正三年しを相列小田東北東氏改の  
時下徳園園名はしるるなりし一

雲居山宗泰寺

寺願十二

寺願十二

開天門

変山寺

寺願未

寺願未

徳利園廣量宿寺

旧末

寺願未

正定山宝泉寺

旧末

寺願未

高田山心光院

徳利園廣量宿寺

寺願未

北條山龍心寺

旧末

旧

安寧山清久寺

旧末

旧末

久宝山万昌院

寺願未

寺願未

徳利園廣量宿寺

寺願未

寺願未

紀雲山大徳寺

寺願未

寺願未

南村山松雲寺

寺願未

川田末

南谷山清泉寺

寺願未

寺願未

春園山長昌寺

寺願未

寺願未

松慶山宗勝寺

寺願未

寺願未

金谷山宝清寺

寺願未

寺願未

青竜山林泉寺

寺願未

寺願未

日輪寺

寺願未

寺願未

花津山通達寺

寺願未

旧末

南栄山法光院

寺願未

寺願未

月波山法身寺

寺願未

寺願未

関口山永泉寺

寺願未

寺願未

鏡山山信明寺

寺願未

寺願未

瑞鳳山禅雲寺

寺願未

寺願未

恵日山金剛寺

吉祥寺末

小日向

開山用山和尚

太田道灌文相寺中にて建之

道灌の本傳あり又乃道灌善植物に名園の常勝ちなりと云  
此寺の本殿を今割ち修す

○正覚山月桂寺 鎌倉園光寺末 寺領百石 川田庄

高寺の元一ツ谷にありて平高寺と云へり此連川のほとりなり  
唯唐乙未喜連川に流婦女月桂院禪尼八十八歳にして夢を  
高寺に葬りて月桂寺と号す 塔院 松竹菴 臥竜菴

○天台宗 佛閣

○觀音堂 俗襟熱心觀音云 牛頭山平流河元寺 寺領百石 音町

開山慈光大師 中寺より觀音 慈心外派形跡云持佛

此寺の大師はく坊門の中河門の角にありて大師の南天  
並本あり俗に南天と云ふなりし 志願有林ハ高寺の境内にあり

その願有林の大師の今にありてはもと行高法院にありしなり

大師の志願の堂は法院にありしなり

○開成堂 高尾の難善院平川寺 寺領百石 音町

○高稚山之光院 上野末 寺領百石 音町

○慈光の難善寺 上野末 寺領百石 音町

- 併兼山宝蔭院 上野末 院代丁 寺領百石
- 東曜山宝竜院 日未 寺領百石 日
- 善竜の威徳院 日未 寺領百石 院代丁
- 宝光の正智院 日未 小日向

○浄土宗 佛閣

- 樹王山史照寺 増上末 寺領百石 知恩末 寺領百石
- 不退山正定院 日未 寺領百石 寺領百石
- 金剛山大信寺 日未 日未 寺領百石 折所
- 栄松の法正寺 日未 日未 寺領百石 小日向
- 中野の史照寺 日未 小日向 寺領百石 寺領百石
- 宝国山大象寺 日未 日未 寺領百石 寺領百石
- 玉樹の良念寺 日未 寺領百石 寺領百石

○法華宗佛圖

- 中光の清浄寺 中光 東海 ○長久山妙泉寺 王辰末 玉田
- 松栄の大法寺 小湊末 小湊 ○長久山常立寺 平賀末 平賀
- 常泉寺 日未 原所 ○正定山佛性寺 中末 原所
- 一樹の宗拍寺 頂中末 日向 ○妙法寺香徳寺 日未 日向
- 正定山幸園寺 小湊末 七島 ○常栄山浄輪寺 比末 七島
- 日海の長光寺 日未 小日向 ○如來山亮徳寺 身延末 日向
- 万年山浄輪寺 五島末 五島 ○長久山有松寺 王辰末 日向
- 女山威通寺 小湊末 日向 ○正定山如照寺 平賀末 日向
- 福徳の蓮光寺 平賀末 日向 ○長久山正法寺 日未 日向
- 妙法山蓮光寺 小湊末 日向 ○上河の久徳寺 上賀末 日向
- 泉光の蓮花寺 石上末 寺原末 日向

○真言宗

- 神數山護国寺 寺原千二百石
- 中馬馬殿石如意輪觀音唐佛 元禄年中本堂浄建之あり本
- 常栄の浄基の寺 今あり此世の和菓堂と浄建三河白令へ
- 行ゆくをへかりし
- 瓶波の護持院 寺原千五百石 根元瓶波の舟是院の高寺し
- 知是院 と云岩井所はもと云縁年中浄建之あり神代徳の
- 外へんり と云保のけし女回縁は高不浄多ありあり
- 長命の密波寺 と云末寺也 ○响玉山西照院 宝徳末 牛也
- 編荷山茶玉院 日向 日向 ○清水寺教寺 日向 小日向
- 三明の千手院 若末末 寺原末 ○蓮花山金葉院 日向 日向
- 一白宗
- 傳久寺 東 乾 ○太子山竜善寺 東 日向
- 分庵の孝教寺 日向 山伏下 ○高源山本法寺 日向 小日向
- 孫名寺 西 末末

○雜司谷

○威光之法明寺 法花宗 寺領十石

日源上人用基より 尚寺根元天名ふりて 同公基定大師なり  
より日源上人強列 定基より 尚寺より日蓮上人より 蓮上人  
より 尚寺より 尚寺より 尚寺より 尚寺より 尚寺より 尚寺より

△日蓮上人の沙跡 後金式アの住持部乃也

○鬼子母神 塔以東湯坊の物

二天正六年 日照坊より 沙跡より 尚寺より 尚寺より 尚寺より 尚寺より

○六老僧の寺 東湯坊 法明寺世中

六老僧の沙跡あり 各日蓮上人の流着なり

- 六老僧
  - 辨阿因梨 土交 日照 白蓮阿因梨 留土 日興
  - 大因阿因梨 池上 日朝 伊豫阿因梨 真開 日原
  - 民部阿因梨 茂原 日向 蓮華阿因梨 貞和 日付

中老十八人

- 日源 日家 日傳 日法 天目 日位
  - 日常 日保 日秀 日祐 日得 日弁
  - 日合 日礼 日賢 日忍 日門 日高
- 六老僧 中老僧 尚寺より 尚寺より 尚寺より 尚寺より 尚寺より 尚寺より

○九老僧寺 日新 本能寺

日朗上人の弟子

- 日印 日輪 日善 日傳 日範 日證
- 日像 日行 朗慶

○濟蘇 尚王坊 法明寺物 尚寺より 尚寺より 尚寺より 尚寺より

○法卷川 法明寺前の細い川を云

○聖源清水 後金式より 報恩寺の四の中 一層ありあり

聖源自鬼子母出現の所なり 法卷川の流の所なり

東あしきよげあよ里々々りむるとし里人あやしきよのあきし  
ひくくをそ母津の徳ありし後日照場ひあかしくし

○鬼三母津の茶 茶屋所ありしとて切の名物し

難司谷 星跡清水 御嶽夜雪 夢見橋野鳥 経巻川虫

八境 盛光山花 三島神籬 鼠山木玉 池箇谷月

○麓山 ○池ヶ谷 ときよ長崎村のしらなり

○三嶋神木 三田のうす水川のもご大根に注連つけてあははる

○高田

○戸塚 高田のまきし古庚子云昆汝門の美名いりせとあはる  
しるすをアキとくちき塚あり白狐まじりて久しうとて戸塚と云  
とありと記しせぬはしし狐塚と云すうまの云宝家もの坊のまじし

○姿見の橋 又推掛橋しと云 高田赤川まじりてとて二百八

○高田馬場 場本屋し大いけし ○落合 三味あり

○比五尾坂 中里の西のうしあり

○穴八幡社 高田戸塚村 別當 光松山放生寺

ひししあしきよのあきしし里人依つてしとてのねのし  
のしりり突永十二年にわろく湯弓大将松平親元を命の宣次乃  
ふかの人あしきよの御名ありしとて天の神りれし八幡を  
勧告せんとせしをけりしとて旭之羽日ありてとてのね  
よあしきよは八幡を納ますしとて神のあしきよをけりしと  
とてのねしとてのねのねをけりしとてのねのねをけりしと  
十八年己酉陽明山口八幡氏人良昌信都は毛利家の臣に  
て根本の何事ありしとて通軍しとて新御子出高にありしとて  
所業園のまにやとてとて後中野室屋等子今に印美雄の  
今下にあしきよをけりしとて社信しとてのねのねをけりしと  
ひしきよんとて地をなすしとてのねのねをけりしとてのね  
穴ありしとてのねのねをけりしとてのねのねをけりしとて  
とてのねのねをけりしとてのねのねをけりしとてのねのね

くわくしつを它八幡と云ふ所今にありあふの勝なりきん  
きんしつを石清水のふをかしきなりきんしつをきん  
しつを大社と云ふなり

高野のふを石清水のふと云ふなりきんしつをきん  
しつを大社と云ふなり

△光り松 神徳のあそび 二と云ふみねあり

△放生池 八幡のあそびの池を云ふ

○昆波門堂 高田のふ 禪英の室泉寺 寺集

本寺のふを大野の北田原寺所の寺集と云ふ  
△高田稲荷社 坂田のふあり  
文龜元年と云ふ所おぼやかしきなりきんしつをきん  
しつを大社と云ふなり

△千とせの松 非あり 昆波門堂のふあり

△新堀が池 坂田のふあり  
雲のふを大野のふ 池の名を尋せありきんしつをきん  
しつを大社と云ふなり

△富 正五九月廿日 久き富の池あり

△高野のふ 高野のふを云ふなり  
村のふを大野のふと云ふなり

○二國徳本觀音 淨土 雨空山西方寺 増上末 高田  
現任九世相譽上人

高野寺子手觀音の弘法大師入唐の時唐昔竜寺惠果和尚中  
乃其像しつを大野のふと云ふなり  
高野のふを石清水のふと云ふなり  
高野のふを石清水のふと云ふなり

○五智如来 淨七 龜鶴山誓願寺 長岸末 高田

用山本食衣老上人誓願和尚 伏任五世之流和向

本会誓願自化 九智の天佛なり

△五智如来 本堂の首末大木を以て極あり愚妻復故の言本  
の高寺の権越し法華の源さくことと極ありと有り  
おもしろく編集の頃ありしにせうのゆゑに味する事  
くはくおのろけ極の心をやあらしと云ふ所の初め  
の如きことあり又又長僧よりありきありと云ふ所の  
さうことと云ふて尋ぬことと云ふありと云ふことあり  
と云ふ所の事なり

おのろけ おのろけなる人 崔下菴活源

信の 今いかにをさうと云ふことと云ふ所の  
小の比るくぬい佛の乃名月教 栗本雪朝

○高田天神宮 別當真言 天竜山真定院 中か 室仙寺末 三田

小野神社し牛の天神所の高社の四社なり

○三落馬地藏 石仏し 淨土 光明の大親寺 和恩末 三田

○紫雲山来迎寺 淨土 秘教末三田 ○永劫山建勝寺 浄土 日末 日

○淨因山清涼寺 浄土 日末 日 ○十劫山宗源寺 浄土 日末 日

○市谷 大窪

○八幡宮 別當稻嶺山東園寺 真言 三野末 田町上

神祇ハ馬上甲冑の形 神功皇后比咩神相殿なり

文明年中 太田左衛門権持資江 城北 朝子 相列 鶴岡 八幡  
を勧告し 武城 権後 の基として 東秀寺 建す 神宮 列  
當 一 心を 稲嶺 寺 あり 稲嶺 寺 大明神 住古より 稲嶺  
ありし 大永 年中 の 乱に 破壊 され 後 慶安 四年 乙未  
江戸 城 所 營 兵 の時 別當 室 源 昌 運 ち ころ なる 一 逆 之 兵  
年 を 歴 々 累 代 の 社 叙 子 復 也



△茶本箱荷社 境内鳥井のまきこじり 岩山の世美し

依伝日高の白狐ありあやうく茶のまうと目をくらさうら  
て茶をいひくし此神の氏子正月三日の月今茶をのま  
又日をうらまの十七日二十七日茶をくらう形ひありま  
すの海ありとら小齋俗介のま

○毫敬福荷社 別當清雲山無本寺教藏院 真言 田町上

元市谷八幡外高の鶴しよら茶本箱荷社をすのまら  
八幡列高茶本箱荷社をすのまら山宝性院無量壽院  
満ちるお勤むむた義し 當社をおの福荷と云

慶長年中進江屋助と云老の娘三平三浦にて孫組かたを  
此の際く初おにまのし本田氏一娘一今公孫家と云

○左内坂 一谷河門乃びりこの坂を云

高取のまら徳田たのしりよこのまら

○甲良屋安 左内坂の山本○飛流坂 ち指 ぬるま推不  
りこの作 史のま

○津泉寺谷 左内坂をとり又とり谷し津泉のまらまら  
ひらびり大まのまらまら降るまら系へまらまらまら

まらまらまらまらまらまらまらまらまらまらまらまら  
尾湯半一まらまらまらまらまらまらまらまらまらまら

○小栗原 本村松平松津ちまらまらまらまら

○合羽坂 日下松平松津ちまらまらまらまら

○念佛坂 日下谷所をのりまらまらまらまらまら

○まらまら谷 日下谷所をのりまらまらまらまらまら

○まらまら坂 日下谷所をのりまらまらまらまらまら

○太神宮 日下所法花勸法社

○西根来 東根来 日下所のまらまら

○七面社 法花 春時山法善寺 此上 大ノホ

境内の松まらまらまらまらまらまらまらまらまらまら  
まらまらまらまらまらまらまらまらまらまらまらまら

○大久保天満宮 聖護院末 別當梅松山五本寺大聖院 今亦

北野神社に神祇、東常の神形、云一名<sup>勢</sup>天神、冬冬田三、  
又西向天神、云是の社、檀西向なり、火の宿、信し、法、  
後堀河帝安貞年中、有惠上人、御治の地、大信、  
多列、大、  
大久保の法、  
○大久保指荷社 別當二尊院 七面東所屋、  
并才天と相合し

○請 宗 佛 園 中谷 天霞

○七宝山薬王寺 其深末 寺、  
高寺、  
流、  
寺、

○清光山林泉流安粮寺 浄土 知恩寺 谷町 安泰寺

洞心蓮社深谷上人貞云 天正二甲戌紀立 伏在蓮社深谷上人實智  
舊此の二ヶ谷願多士尺取し今尾列沙籠の海の内し  
此多士尺取多し、  
小、  
深、  
市、  
御、

△指荷社 境、  
百、

編、  
白、  
白、

を新中よりより連きその江を回ふ宗と云被治世に  
ありしはあつて伝と少くは若ありて大災をまぬる事ありしと

△八幡宮像 雲列の城主尼子修隆寺經久城也也也

△河八幡宮地佛の海泡寺也 定知也 河毎々年 知今は乃、遠上

△河八幡宮地佛の海泡寺也 定知也 河毎々年 知今は乃、遠上

△河八幡宮地佛の海泡寺也 定知也 河毎々年 知今は乃、遠上

△河八幡宮地佛の海泡寺也 定知也 河毎々年 知今は乃、遠上

△河八幡宮地佛の海泡寺也 定知也 河毎々年 知今は乃、遠上

△河八幡宮地佛の海泡寺也 定知也 河毎々年 知今は乃、遠上

△河八幡宮地佛の海泡寺也 定知也 河毎々年 知今は乃、遠上

△河八幡宮地佛の海泡寺也 定知也 河毎々年 知今は乃、遠上

△河八幡宮地佛の海泡寺也 定知也 河毎々年 知今は乃、遠上

△河八幡宮地佛の海泡寺也 定知也 河毎々年 知今は乃、遠上

○口祿山經音寺 淨土 西連泉 二谷 ○専念寺 智恩院末 大ノホ

○蓮沼山惠光寺 法花宗 玉沢末寺院 一谷系所

○久栄山蓮秀寺 玉沢末 寺中 栄昌院 教院院

○大乗山經王寺 平賀末 平所 ○蓮花山妙興寺 平賀末 平所

○白鳥山善光寺 一向宗 一向東 光ヶ谷 ○濃法寺 一向東 月本

○長嶽寺 禅宗 月本 高野所 ○光雲山淨栄寺 月西 高野

○瑞光山道標寺 妙心末 一ヶ谷 ○万亀山東長寺 勝魚寺末

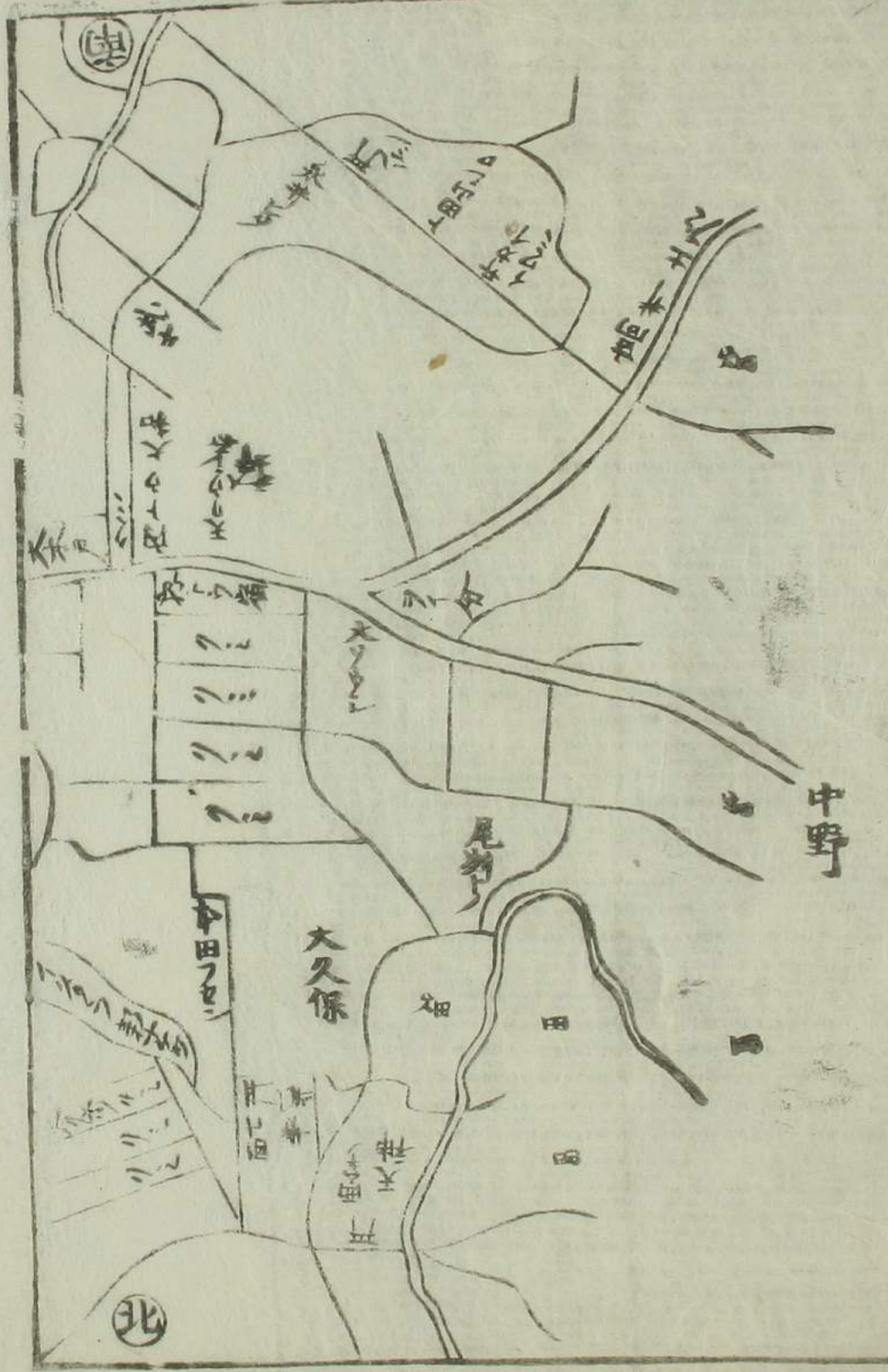
○万昌山長延寺 曹長年末 石丁 ○永昌山宗泰寺 曹方松院末 石丁

○五栗山長竜寺 旧小社を移末 石丁 ○竜谷山洞寺 月本 月本

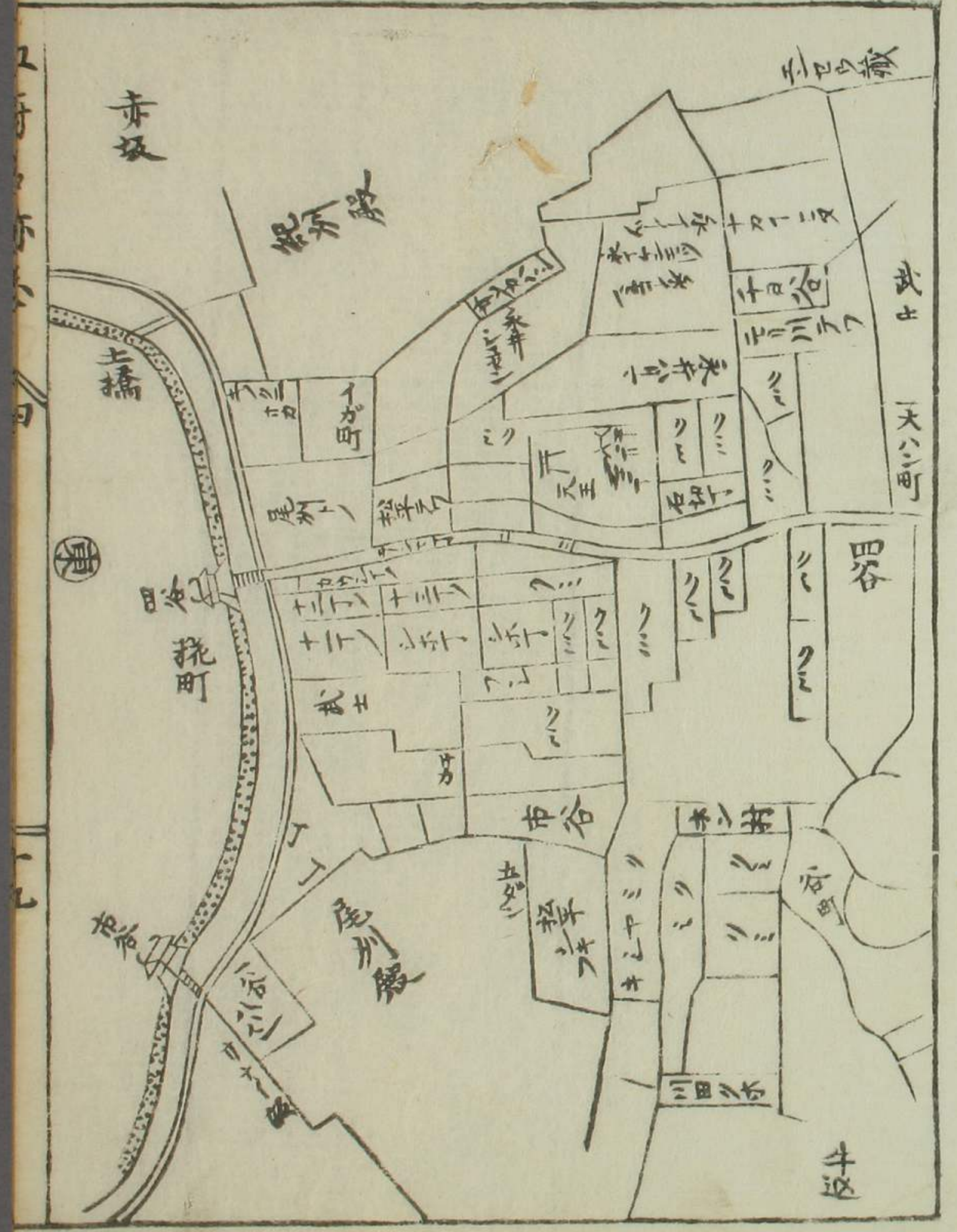
○風仙山長春寺 旧長春末 月本 ○天長山永昌寺 月本 四谷竜昌寺末 月本

○七里山光徳院 真言後室末 新所 ○永福寺 月本 五昌寺末 天ノホ

市谷方角  
四谷



沾凍場



江戸

二

十三 四谷 内原宿 大木戸 新宿 中野  
敷橋 千日谷 千駄谷 高井土

○四谷云々。千日谷。若荷谷。千駄谷。天上谷の四谷也

○四谷御門 物部十丁目ありは沙門の外を四谷と  
 云ふ十一目十二目は下沙門の時代地を沙門の内  
 してありは之を四谷のくしとあり ○牛小原

○紀伊屋敷 紀伊屋敷の外のこの敷し 四谷市谷の東  
 七町目云々

○殿橋 左の坂下大津より今にけき多の敷ありし  
 半の所元寺の名あり漁馬なりしは穢の僧はこれありて  
 曼陀羅へをびしありおあきんとのるけ橋ありあて  
 死らりてれり 駿馬橋と云ふとあつたはりしと云ふ

行元寺の四記あり曼陀羅の六にありしとあり行元寺の  
 の碑今ありと云又流しはけ下大津と云ふ川ありし  
 たりはさ大さなる敷ありしと云ふはれしと云ふ

○牛頭天王社 四谷 別當 箱荷山宝藏院

山列祇園神社 日本紀纂疏曰山城国 愛宕郡祇園社  
 則進雄神之化迹 凡有三座 一牛頭天王又名

曰武谷天神 諸社根元記 中間牛頭天王素戔嗚尊  
 垂跡東間八王子立男三方西間箱田姬木御前

祇園縁記云天竺北有国名九相其国有園名吉祥其  
 園中有城城中有王名牛頭天王又名武谷天神娶

婆竭羅龍王女為后生八王子其眷屬八万四千  
 六百五十四神 神社考 素戔嗚唐より半改天王又武谷天

神より天竺より金毘羅神又摩訶訶羅神といふ

△御旅所 四谷石切所 毎年六月は下沙門假名云々  
 六月十八日より月正一日まで遷居あり 祭礼六月十八日 隔年

△箱荷社 境内ありは中より神あり玉置あり其人  
 といふは御也

○忍系 天王の平らるる也 びし 忍の丸や きのありいそ

○千日谷 かき系のある方 ○まゆ坂 かき系のある

○信濃系 千日谷の系 井伝流ちあや さいおまていし 井伝の

○大木戸 大木戸の系 高井土中の中あり

○御言葉の松 内及右の角内及右の松あり

○千駄谷 びし 一の松あり 一日に千駄の松あり

○八幡宮 千駄谷 別當 高雲山 瑞雲寺 曹洞宗 法泉寺末

○本世の松 千日谷 東人信教の松 神傳所 朱印 八石分

○洗谷 洗谷 金王丸 古蹟の松

○洗掛松 洗掛松の系 日九月廿七日 洗掛松の系 洗掛松の系

○洗掛松 洗掛松の系 洗掛松の系 洗掛松の系

○洗掛松 洗掛松の系 洗掛松の系 洗掛松の系

○観音堂 日正 観谷山聖輪寺 真言 和列 長谷末

○開山行基菩薩 本意 如意輪佛自心

○眼玉の観音 眼玉の観音 眼玉の観音 眼玉の観音

○高松の松 高松の松 高松の松 高松の松

○高松の松 高松の松 高松の松 高松の松

○高松の松 高松の松 高松の松 高松の松

○高松の松 高松の松 高松の松 高松の松

○高松の松 高松の松 高松の松 高松の松

○高松の松 高松の松 高松の松 高松の松

○高松の松 高松の松 高松の松 高松の松

○高松の松 高松の松 高松の松 高松の松

○高松の松 高松の松 高松の松 高松の松

浮遊の河はせはゆるぬ日連きおなり元禄年中天の川に  
台宗圓基自光院の大僧が雄作兼平に 担任賢道

○吾妻堤 日下むし海防の元子の余路してさしあがる

○元楯硝子差 日下 今の橋を元の西にあり

○太神宮 日下 神主小川郁宮

一カ所のところをとりて神をたてをたてしはしめてしはしめて

きりりきりりきりりきりりきりりきりりきりりきりりきりり

に太神宮のわたりありきりりきりりきりりきりりきりりきりり

○旗ヶ谷 見とるやとさき木村の石を云

○高井土 金子海なる所の名なり 日下より三里半

○新名 日下よりひさしはひさしなり 日下より二里半

○新名 日下よりひさしはひさしなり 日下より二里半

○追分 新名の久しき井土とす中野への追分

○策の井 追分の足松平松はちちなり中一りの内ありとも

えおの源流の神とれよ名ありありありありありありありあり

ありありありありありありありありありありありありありあり

○大と谷 又狼谷も 彰名のとれ種多し人あつたあり

○牛窪 狼谷の内 ○掃部橋 四谷の河原所十石在

○笹塚 古河一木 ○舟板橋 日下橋より舟板橋

○古河橋 四谷村 真言 延正寺 茶師堂ありありありあり

延正寺 茶師堂ありありありありありありありありありあり

もつたはくちの橋と云ふは江戸府の東にありし木村の村に在りし  
一の橋本を馬のよちらひたる名なりしと云ふなりしと云ふなりし  
橋本を馬のよちらひたる名なりしと云ふなりしと云ふなりしと云ふ  
又橋本の墓を云ふは江戸府の東にありし木村の村に在りし

○淀橋 江戸府の東にありし木村の村に在りし

又西郷の橋 江戸府の東にありし木村の村に在りし

寛永の江戸府の東にありし木村の村に在りし

日連く書くるよハ漆 千盃朱千盃黄金千盃銀千盃

下男負を云ふは江戸府の東にありし木村の村に在りし

さうなを云ふは江戸府の東にありし木村の村に在りし

○成子 江戸府の東にありし木村の村に在りし

○中野 江戸府の東にありし木村の村に在りし

ちのうに橋あり ○新善の里 川右宿の末

○代々木野 中野の東にありし木村の村に在りし

○新掛松 代々木の西にありし木村の村に在りし

武衛征伐の河内あり陣旅ある父村義入道死すなり若狭舟にて七  
代々木より亀居ありその河内苦毛と云馬をけりしはむし枝に新  
又河内ありし木村の村に在りし

○武藏野 江戸府の東にありし木村の村に在りし

又寺野の東にありし木村の村に在りし

ひののたけやまを云ふは江戸府の東にありし木村の村に在りし





乃尔の山隈なりけり此を... 井を... 千代姫君... 自證院殿...  
 本堂の... 井を... 千代姫君... 自證院殿...  
 ...

- 朝日薬師 光明山真福寺 上野末 小田
- 妙香山延秀院 上野末 小田
- 龍王山安永寺 上野末 小田
- 地福院 上野末 小田

○禪宗 佛閣

- 笹寺 四谷山長善寺 本列法泉寺末 岩

志を... 寺を... 妙善寺... 妙心寺... 妙法寺... 妙蓮寺...  
 ...

- 雄峰山全勝寺 イワ村 常泉寺末 妙心寺 青松末 四谷

- 泰嶺山全長寺 全勝寺末 妙心寺 竜目末 小田

- 金住寺 日末 妙心寺 妙心寺 妙心寺 妙心寺

- 仏王の竜泉寺 日末 妙心寺 妙心寺 妙心寺 妙心寺

- 法輪山勝真寺 東河原末 日末 妙心寺 妙心寺 妙心寺 妙心寺

- 雲龍山松茂寺 妙心寺末 日末 妙心寺 妙心寺 妙心寺

- 日照の宗福寺 勝真寺末 日末 妙心寺 妙心寺 妙心寺

- 大覚山宗應寺 黄檗流 山列浄住寺末 妙心寺

- 同山鉄牛禅所 中興別淨和尚 妙心寺

- 護本山天龍寺 寂庵寺中大徳流末 同山春屋和尚 妙心寺

- 一里塚 大徳寺の末 妙心寺 妙心寺 妙心寺 妙心寺

- 子安橋所 妙心寺 妙心寺 妙心寺 妙心寺 妙心寺

○洋土宗佛閣

○専称山西念寺 西福寺末 ○永固山一行院 洋寺末

寺中 崇院 信壽院 ○栄孤山香蓮寺 灵岸末

○白岩山宗源寺 知恩末 ○涼雲山西蓮寺 増上末

○増光山淨蓮寺 日未 ○响子山正定寺 日未

○深谷山長安寺 日未 ○十劫山成実寺 日未

○霞関山大宗寺 増上末 巽谷

寺元末 関山 △六地藏 二番目 改門正元坊建在

○真言宗佛閣

○汐千観音 錦敬山海解寺真成院 宝仙寺末

関山清心法印 此寺より越後守村と義法守の守佛なり一尺ころの石あり

各像の形観音しけは湖時くまらて湖なるあり  
義法寺深村と守村入道永齋の奥列本派あり  
大坂津陣よりそのくまら子より高寺関山清心法印の  
師よりいづる浪人より高寺の寓後水乃汐千邊へ出  
そのくまらいぶるの高寺よりいづるを佛なり

○十股山芝深院 護持院末 ○金剛山顯性寺 宝仙寺末

○雲臺山殊院 日未 ○東向山蓮花院 根生院末

○阿詳山東福院 日未

○法花宗佛閣

○妙典山戒所寺 身延末 白寺

関山 寺中 免院 本寺坊 中寺 海神坊

△此寺の飯をくまら

- 長明法善寺 小湊末 寺々
- 法真山理性寺 大木戸
- 天月山正運寺 日下 四谷
- 妙福寺
- 高月山日宗寺 日下 身延末 天王丁
- 箱荷山妙行寺 日下 廿方三
- 宝勝寺通寺 日下 乙卯
- 妙性山正覺寺 日下 廿方三
- 長岡山榮林寺 日下 乙卯
- 平野山真性寺 本寺末 乙卯
- 正妙法恩寺 本寺末 日下
- 壽量山宗源寺 四谷
- 微妙山真性寺 池上末 今井
- 廂山日賢上人

○一向宗 佛閣

- 法雲寺 東 乙卯
- 西應寺 東 乙卯
- 真英寺 日下 日下
- 源慶寺 日下 日下
- 正應寺 日下 日下
- 吹正寺 西 千本末

十四 赤坂

今井 青山 渋谷 世田ヶ谷 長者丸

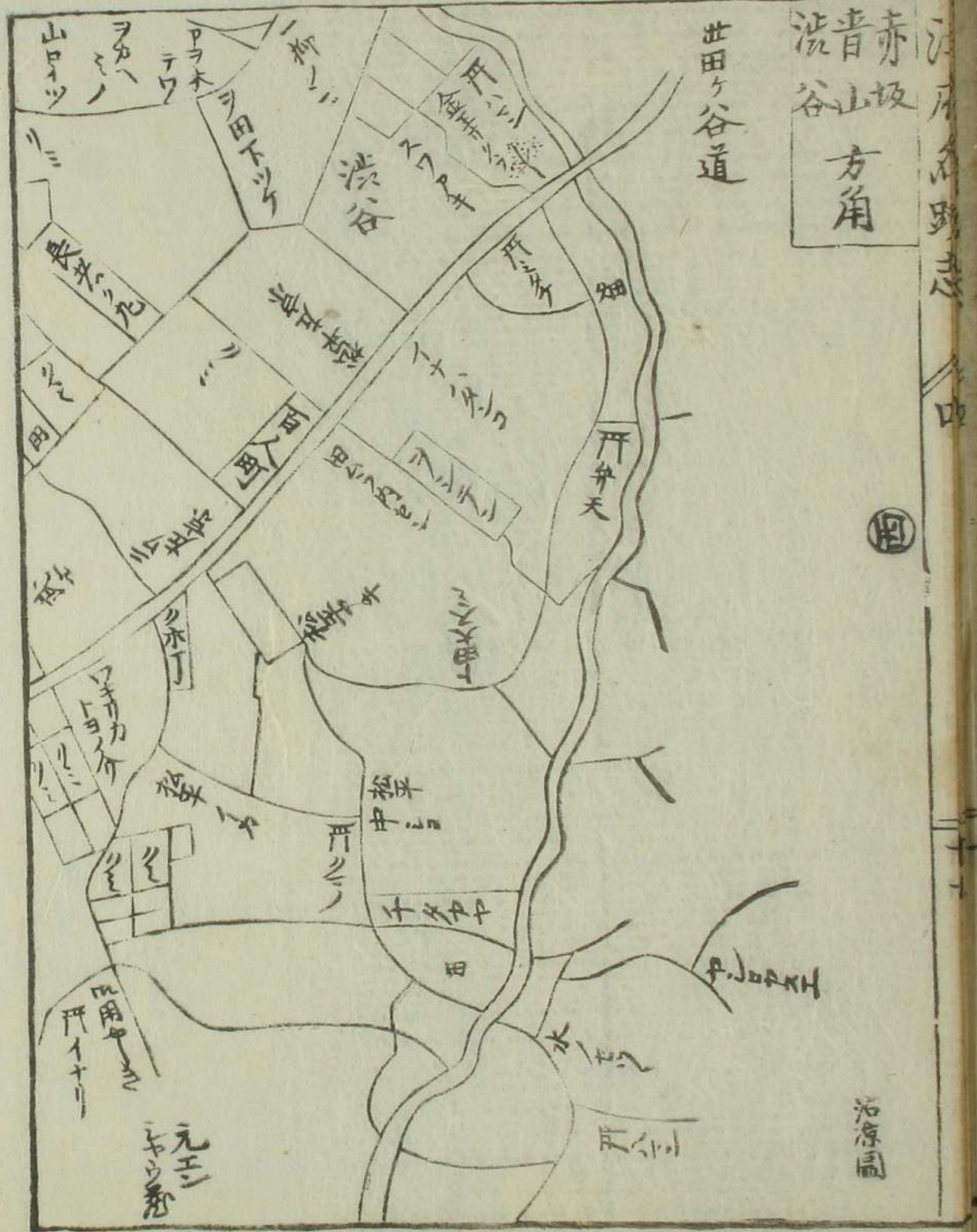
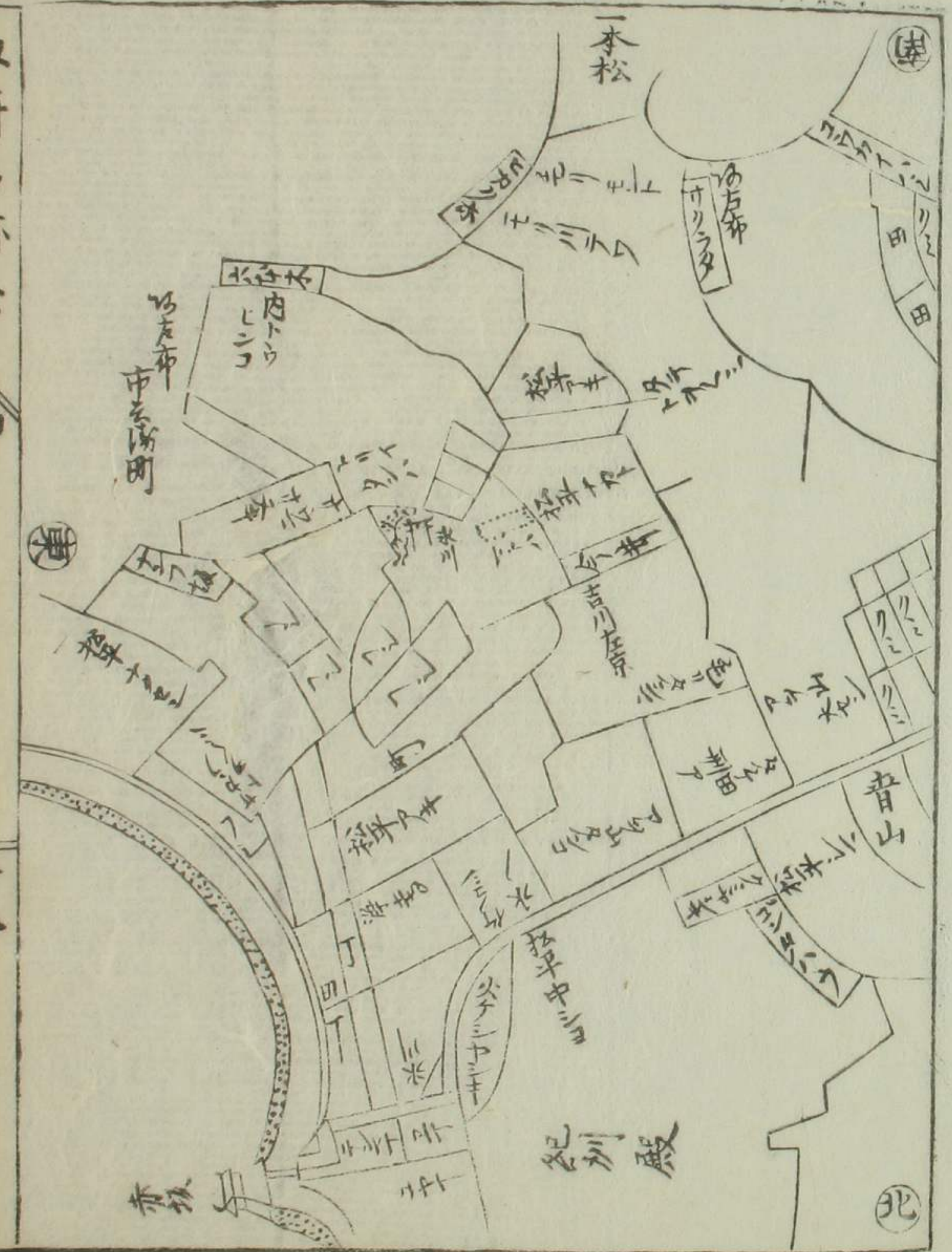
○赤坂庄 風土記 荏弱赤坂とあり。赤坂川、その名の川なり。云穀三百九十九束三毛田 假粟二百二十元 貞妻葬、又貞鶴鶴焉

○氷川社

小六宮 聖復院流 別當大乗院

風土記 赤坂庄小六天神 或古呂故 圭田三十九束三毛田 天武天皇三年甲戌十一月始行神祀有神戸巫戸祭祭大己貴与少彦名園韓神也号小六者以古呂故岡名也氷川と云ふ中ら高而多し是古為の園一宮かゝる人下くは勸誘すゝと云是之部大宮氷川社と云ふ乃一宮し孝昭天皇三年戊辰冬所素戔嗚大己貴寄指田比咩と云ふなりと風土記あり是之部熊川の御あり此神出雲國熊乃川と云ふ大蛇を退治し初め

江戸府志



赤坂  
青谷  
方角

此田ヶ谷道

元三

よりて此之神を氷川と號し兼川氷川同列なれど  
 先書云ふ高木古故國の氷川の社は是之郡の氷川を勧  
 延とて祀せり又云入間郡氷川の社天曆元亨の年創  
 といふ高木入間郡とて云々何れの所の氷川と云ふ  
 一書らるるなるべし又云在坂の所を小川と云ふ  
 中一といわたり又小川の所を又國東小川と云ふ  
 再興せりゆいひて是土俗の祀也也更に  
 と古呂故國と云ふ所の所を云々云々云々云々  
 て云々云々云々云々云々云々云々云々云々云々  
 秋とてあはれゆての所の所を云々云々云々云々  
 老らるる所を云々云々云々云々云々云々云々云々

高社の在坂川門の所はあり高木古已國所遺言ありて今の高  
 遠とあり 祭礼六月十日 備前

○今井の城跡 松平安藤公直の所なり 今井

田子先生我賢の多慶部にあり悪源大我平と合我の所我賢の城  
 の所と云我賢の本曾我仲父為我の子と我平の父と云  
 悪源太と云又祈友別高成今井兼平の城なり今井と云ふ  
 魚平と云わたり 其城が信せし長井の所の湯屋の所

○鱧の井 大石あり法隆寺の所なり  
 ○赤根山 紀別所中なり其の所を云今云紀別山坂といふ  
 赤根といひし赤根の坂を云今云赤根といふと云

○就島御門 紀別所中なり其の所なり  
 ○茶研坂 松平大將の所なり其の所なり  
 ○何志島坂 大やげん坂の所なり何志といふ物乳の製法なり

○竹合坂 今井村の所なり  
 ○南郡坂 谷所なり赤坂の所なり

○推太郎 びしー 推太郎の國所といふ人住居の地と云

○青山 青山大猪免取中一とありびしーの向ふに家の跡あり

○勢井 大月寺の内にありけりお水なりー 空寂法所

○掃除坂 大月寺の向ふにあり

○花摘荷社 大月寺の向ふにあり

○笠置 大月寺の向ふにあり

○御嶽社 百人所のされし

○熊野大権現 東名 別當ニ光山淨性院

紀伊三山勸修 青山の徳あり 祭礼九月廿一日 祭神伊弉冉尊

本宮新宮那智これと成すとの中云 祭神伊弉冉尊

早玉と男事解く男三神し日本地伊弉冉尊生火神時

被灼而神退去矣故葬於紀伊國熊野之有馬村

○長者丸 百人町八南 びしーの向ふに流谷長者と云ふ伝あり

代々種を金丸と云流谷の末孫なりと云うその頃の浪村の白金の

長者といふありと云いおし黄金の長者といふし應安の

ころまともゆかりと云うの子孫らと云ふと云ふと云ふと云ふ

ひしーの向ふにありと云い今にありと云ふと云ふと云ふ

○鉤匙橋 お柳と云 大月寺の経基橋といふ

此川にびしーの龍川と云大河なり万曆二年平頼門石軍良望

を殺し下総相馬郡石井の川に相馬を多る六孫王経基は武差

の勢井郡あり将門羽書をして相馬へ振くその謀を云ふと

下流にあり 岸に龍川と云ふ勢井前司唐雄と云者無世王

と云 龍川の園を云ふて旅人をとらひて多るおのく経基を帯刀

の策を園中に云ふ 是後日の徳なりと云ふと云ふと云ふ

経基を橋といふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ

旅陣の時その名を云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ

らと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふと云ふ

この并に親王院ありしを以親王院の法谷東福寺に事たり  
 かの如く今に東福寺あり又古く物部子白根長女乃  
 子根王丸とてこの中今の子孫とて是著の事あり

○浄土宗佛閣

○平河山原照院淨土寺

増上末

聖照院

本所

開山教養聖公上人

寺中

聖照院

聖照院

高寺ハ沙汰門平河口にあり又龜ノ寺南有リ

○一竹山清浄寺

増上末

寺下

○日照山清寂寺

智慧末 一本

○川勝山清浄寺

日末

日

○信康山龍泉寺

日末 日

○法性山善学寺

日末

今井 ○寂照山高徳寺

日末 音山

○長音山宝樹寺梅窓院

知恩末

音山

開山觀智国師

實承年叶起

現住森順善上人唯然和尙

本寺阿弥陀

聖徳太子の外

之社昔亦ハ彫刻ノモノニ社作ルモノ云

○春平觀音

坊内

三國傳外ハ傳承ハ我ハ橋太郎義孝ハ



寫佛ナリ陳上ノ瑞砂ニ奇シクハ傳説あり今ハ奇瑞  
 多ク難産或ハ厄難乃其ノ事ヲ行ハルハクハ事ニあり

△撰地藏

慈覺大師の外

ハ唯然和尙中ハ感得あり

△石瀨編荷

享保の頃

西方和合百瀨より縁山ノ下の僧

△拾様

才二世海登人門を以て苗本と稱ひて今ハ柳

一社遺之あり衆人法親を以て稱ひて今ハ柳

追隣の民おし相しりて今ハ柳

留主に居る人ハひろく人ハ死さく

△慈門

長者との額美磔悦山淨土の事

岸村涼宇

○南命山善光寺

信列善光寺の宿寺

尾寺

音山

本寺の祖師中將非稱佛し中御座廉を尊と云あり

寺願五石 為寺の谷中ハあり室氷のとらあり今ハ谷中の山此寺ハ昔是也



○ 禪宗 佛圖

○ 靈鳳山 龍德寺

大徳寺末 塔院 松渡院 柏樹院 赤坂

岡山 東光 智灯 禪師

△ 醍醐 玉水 寺 あり あり あり あり あり あり あり あり

○ 竜徳山 松泉寺

赤坂 ○ 万運山 陽泉寺 保徳寺末 今井

○ 彌荷山 香通院

日未 ○ 花岳山 法音寺 泉岳寺末 日

○ 玉窓寺

青葉 青山 ○ 霞谷山 青原寺 龍徳寺末 青山

○ 微妙山 実相寺

月桂寺末 日 ○ 竜谷寺 宝徳寺末 日

○ 曹山 海藏寺

美奈末 青山

岡山 宝洲 和尚

中奥 密山 和尚 歴書 一切 經 萬 寺 人 知

○ 普陀山 長谷寺

曹洞 宗 林 大中 寺 末 則 化 寮 寺 あり あり

岡山 門 菴 宗 園 和尚

天正 十 二 年 海 法 師 あり あり あり あり あり あり あり あり

△ 妙 寺 あり あり あり あり あり あり あり あり

△ 妙 寺 あり あり あり あり あり あり あり あり

△ 妙 寺 あり あり あり あり あり あり あり あり

△ 妙 寺 あり あり あり あり あり あり あり あり

△ 妙 寺 あり あり あり あり あり あり あり あり

△ 妙 寺 あり あり あり あり あり あり あり あり

○ 佛智山 圓通寺

王沢末 赤坂 ○ 速栄山 持法寺 赤坂寺末 青山

○ 清水山 常玄寺

慶下寺末 日未 ○ 蓮光山 妙園寺 小湊末 日未

○ 専福寺

栗 赤坂 ○ 光園山 乃教寺 東末 赤坂

○ 清涼山 光永寺

日未 ○ 多福寺 日未

○ 法雲寺

日未 ○ 報土寺 日未

○ 今井山 妙福寺

今井 ○ 中根山 明福寺 日未

○ 妙祐寺

日未 ○ 各量山 園林寺 日未

○ 天台宗

○ 心見 觀音 聖徳太子の作 あり あり あり あり あり あり あり あり

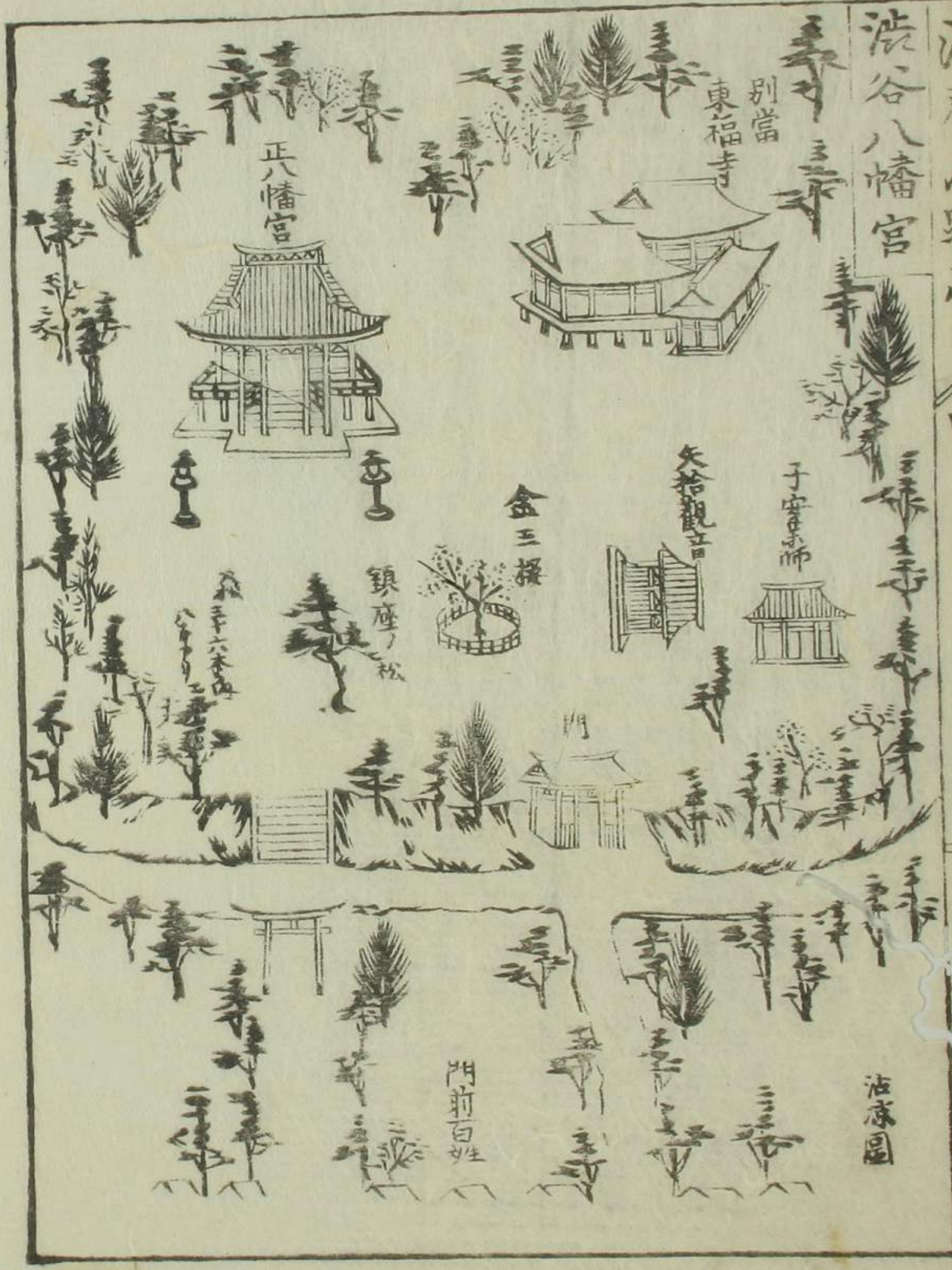
○ 所園山 教定院

城嶽寺末 青山

△ 心見 觀音

聖徳太子の作 あり あり あり あり あり あり あり あり

渋谷八幡宮



○渋谷八幡宮

渋谷 天台 別當渋谷山東福寺

康平六年村岡五郎良文の曾孫川崎土佐基家不流八幡宮  
 勸法あり瑞子平三重家金王丸はあり代々絶えず金王丸より  
 村忌をありし渋谷を氏としむし大社ありし矢成血庄七郎の  
 老士神なり謂所七郎の 渋谷代々木 赤坂 飯倉 麻布  
 一木 今井 今より昔より渋谷乃他よりしりし今天皇の渋谷之  
 同公園鎮僧正頼和元年宋千時百十歳 現住三十九世宗徳大徳園家  
 △正八幡の神祖弘法大師 應神帝の尊孫なり  
 △月輪乃御旗 神正躰より凡支派もも事ありし也  
 河原の長元五年源頼信を棄たす退治の河原し八流の旗  
 鶴岡を治る日月流の村田氏基に始りし我義家真列任信の時  
 此二流をくく月の旗なるもももて八幡とありし信長は始り  
 △子安養所 行基の元 源義朝の古佛也  
 △天捨観音 唐佛 渋谷金王丸古佛也  
 △金王丸乃傳 織衣二刀を帯 自伴して云 金王の金剛衣又明王の

本流のくく 雅名を金玉と云是上下のききし 平治元年三月淡谷冠云  
常夫と号し保元乱の後道世と死生志をいし

○金玉橋 境内にあり むしりのふい憂志橋と云 憂志橋を金玉

久壽年申年源頼朝鎌倉幕の館よりし 憂志橋を金玉  
丸に終ふ所世淡谷にそしきり 橋を八幡と云 此のゆりゆり  
の明のころ黄令長老といふあり 淡谷氏の末葉とて 疫病の詠わ

紫一本

紀列養殊院橋と云 此の實を河をなすありて 此の橋を

てやりにありて 此の橋をなすありて 此の橋を  
やうに 河の土淡谷善入といふ人の金玉丸の子孫と云  
して今そのえまのさかかとして 此の橋をなすありて  
家々のあつたのの押さるるありて 此の橋をなすありて  
いふありて 此の橋をなすありて 此の橋をなすありて  
を今のいふありて 此の橋をなすありて 此の橋をなすありて  
共ハ 白ひや一死の地也 菊田梅五

△鎮座乃松 境内あり 大永元年正月十三日小條氏頼と上杉謙吉

る輪の系に 河氏徳の後津大なる八命を淡小松をまかり  
淡谷へせ免入放たをいふ 此の橋をなすありて 此の橋をなすありて  
かゝるありて 此の橋をなすありて 此の橋をなすありて 此の橋をなすありて  
に六株あり 橋のたすありて 此の橋をなすありて 此の橋をなすありて

○誕生池 八幡より西なり 此の金玉丸誕生池なり

○金玉丸城跡 此の橋のあつた場所の跡なり 此の橋をなすありて

今にあり 古井あり 淡谷代々の地也といふ

○河崎庄司次郎館 此の橋の西の地なり 此の橋をなすありて

いふあり 大場藩世ありて 此の橋をなすありて 此の橋をなすありて  
の河崎へい 此の橋をなすありて 此の橋をなすありて 此の橋をなすありて  
○新尾平次左衛門次郎館 此の橋をなすありて 此の橋をなすありて

今にのりて 此の橋をなすありて 此の橋をなすありて 此の橋をなすありて  
あつたありて 此の橋をなすありて 此の橋をなすありて 此の橋をなすありて  
板ありて 此の橋をなすありて 此の橋をなすありて 此の橋をなすありて

○其露水 ありききし 天慶二年六孫王延基あり跡あり

○玉池 ありし跡ありをゆく味ひ爽し其方なるし跡ありし

○玉井 淵沸きより火よりなり玉糞の婦に伝え是ハ八幡宮の神を

大永の兵火を降くは井にありし玉を玉の井と云ふ今玉

○作候の跡 一名去我昔跡 百人所の豊田村原谷中より

○古道 鎌倉の代の海方し太の堀の下にありしもの

○神仙水 八幡の池 むし一室神人比谷にあり不老長生の

伝系を新らうと云来ありしけを神谷と云ふ

夏皇悲昔恨を去りての跡ありし

○鉢山 太のびしにあり法道伝の神けあり

○朝秀滝 沢谷 けしに沢谷系あり長者あり

泳びし又母いさかののり船着と云ふ警あり形を云ふ

○淵 太のびしにあり小まきと云あり

○玉指沢 ○羽沢 ○鶴谷 沢谷の月 建久二年源朝の月鶴

○氷川社 沢谷川 天台 別當惠日山宝泉寺系玉院

○道玄坂 きたり世田谷ありしけ好を云ふと云ふ

○道玄坂 きたり世田谷ありしけ好を云ふと云ふ

○道玄坂 きたり世田谷ありしけ好を云ふと云ふ

公賊を懲破す類ひしにふたむかひなり申(今)よりいふ

○通玄物足之松 日本にも後列懲破られたりし

○馬車次 此れもせよとありし(○)森山神社 日本

文治四年源朝真列 泰衡征伐の時渋谷八幡に奉祀あり

在系に於て東除其色ひる御守りありし(○)情多(林)に

ひるその名を馬川に流し云々ありし(○)体(林)を高の祓祭

○常盤楯 せよとの入口小みどいにありし(○)汁のみを

いひし吉良氏の毒と云はし(○)密通の事ありし(○)と

けはらりし(○)害せし(○)し(○)果おのり(○)月(○)の(○)を(○)る(○)東(○)こ

し(○)今(○)瘡(○)を(○)や(○)び(○)者(○)は(○)格(○)を(○)い(○)の(○)せ(○)耳(○)酒(○)を(○)楯(○)の(○)ゆ(○)ら(○)ぬ

供(○)と(○)し(○)たら(○)せ(○)ら(○)し(○)治(○)療(○)と(○)し(○)云

○世田之谷 在系郡(○)い(○)ら(○)る(○)に(○)置

吉良正太十五百ふの時の切りて世田之谷乃所折と云

○九品佛

九品唯在念佛院淨真寺

世田谷真次郎

ある吉良氏の城世なりし(○)墨(○)皇(○)乃(○)四(○)趾(○)なり

用(○)山(○)起(○)卷(○)上人(○)珂(○)碩(○)和(○)尚 延宝六年乃起立

九品佛一軀(○)く(○)ち(○)り(○)る(○)者(○)え(○)乃(○)中(○)に(○)小(○)佛(○)一(○)千(○)一(○)軀(○)九(○)品(○)の(○)小(○)佛

凡(○)一(○)万(○)百(○)十(○)軀(○)あり(○)各(○)座(○)係(○)丈(○)六(○)尺(○)四(○)寸(○)の(○)後(○)後(○)丈(○)六(○)寸(○)の(○)小(○)佛

一千十一軀(○)の(○)余(○)佛(○)係(○)凡(○)三(○)万(○)二(○)千(○)軀(○)し

珂(○)碩(○)和(○)尚(○)の(○)武(○)列(○)の(○)人(○)姓(○)の(○)野(○)村(○)氏(○)なり(○)元(○)和(○)平(○)年(○)正(○)月(○)朔(○)日(○)也

十八歳(○)に(○)て(○)生(○)實(○)の(○)大(○)藏(○)寺(○)に(○)令(○)遊(○)流(○)上人(○)の(○)門(○)下(○)珂(○)碩(○)の(○)才

多(○)し(○)寛(○)永(○)十(○)三(○)年(○)珂(○)山(○)和(○)尚(○)靈(○)巖(○)寺(○)に(○)入(○)流(○)れ(○)其(○)巖(○)寺(○)三

世(○)なり(○)此(○)時(○)珂(○)碩(○)と(○)い(○)て(○)其(○)巖(○)寺(○)に(○)入(○)り(○)特(○)許(○)寺(○)と(○)い(○)東(○)の(○)海(○)邊

に(○)り(○)る(○)珂(○)碩(○)の(○)命(○)と(○)い(○)て(○)土(○)本(○)の(○)寺(○)を(○)つ(○)く(○)し(○)て(○)日(○)夜(○)心(○)力(○)を(○)ま(○)り(○)し(○)本(○)堂(○)方(○)丈(○)の(○)お(○)も(○)ひ(○)門(○)庭(○)の(○)下(○)期(○)年(○)に

し(○)て(○)印(○)を(○)受(○)け(○)其(○)法(○)の(○)世(○)に(○)り(○)て(○)其(○)師(○)一(○)日(○)に(○)三(○)法(○)此(○)多(○)く(○)り(○)て(○)造(○)佛(○)の(○)費(○)を(○)充(○)つ(○)寛(○)文(○)四(○)年(○)に(○)丈(○)六(○)の(○)一(○)軀(○)を(○)成

釈迦佛丈六の像を造り、具敷の世にありて、一とせ法  
波のよめる佛像ありて、海中に漂ひ、此時珂順、おちるハ  
越列にあり、これを嘗て、乳んを養へ、おちるなり、切なり  
なり、一とせ佛像の、一とせ、存あり、解と

延宝六年、真次、の御民、拒き、一とせ、おちるなり、千時師  
六十一歳、し、おち、其、困、寂、く、おち、一とせ、おち、の、世、に  
一とせ、後、九品の、像を、具敷、寺、に、一とせ、一とせ、車、堂、の、一とせ、おち、

延宝八年、甲、八月、大、内、おち、一とせ、車、堂、倒、れ、佛、像、一とせ、おち、  
所、又、一とせ、を、補、に、一とせ、元、禄、七、年、十、月、七、日、入、寂、す

大溪山豪徳寺

禅宗

在、赤、松、世、田、谷

用、山、馬、堂、昌、善、禪、所

中、興、同、解、善、圓、禪、所

再、中、興、大、徳、寺、道、禪、所

文明十二年、庚子、豪、徳、院、用、基、と、い、い、吉、良、正、忠、乃、他、母、乃、則、  
南、寺、に、一とせ、一とせ、あり

